

第2学年学級活動(1) 指導案

日時 令和5年10月27日(金) 5校時

児童 2年A組 計32名

指導者 教諭 穂積 寿恵

場所 2年A組教室

1 議題 「1年生となかよくなるう会をしよう」

学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 議題について

(1) 児童の実態

本学級は、個性が豊かで、決めたことはやろうという意欲がある。休み時間は元気に遊んでいるが、その交友関係を見ると、特定の友達とだけ遊んだり、一人で過ごしたりする児童も見られる。

1学期は、めあて達成会や学級が仲良くなるための集会を行ってきた。集会に向けて話し合いを行う中で、計画委員会の仕事や話し合いの進め方、意見の出し方を指導してきた。繰り返し行うことにより、賛成意見を発言する児童は増えてきたが、心配意見や改善意見については限られた児童になっている。発言の良さを認め、意欲的に発言する児童を増やし、比べながら聞く力やまとめる力を育てていきたい。

(2) 議題選定の理由

本議題は、学級活動(1)「学級や学校における生活づくりへの参画」のA「学級や学校における生活上の諸問題の解決」に関するものである。

1学期は、お互いをもっと知り、学級がさらに仲良くなるように集会の内容を考えてきた。その中で、「自分たちで考えた集会を行う楽しさ」や「友達の新たな面を知る喜び」、「実際にやってみると困る点」などを体験してきた。この経験を生かし、今度は対象を異学年に広げ、立場や年齢が違う相手のことを考えて活動できるように本議題を設定した。今回の活動は、生活科の「おもちゃ大会」へとつながっていく。

3 評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
みんなで学級生活を楽しくするために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。	学級生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。	学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団活動に取り組もうとしている。

4 活動計画

	日 時	児童の活動	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】(評価方法)
事前	9月27日 (水) 【昼休み】	・議題を確認する。 (計画委員会)	・1年生とおもちゃ大会が行われるため、第1回なかよくなるう会を行うことを確認する。	◎「1年生となかよくなるう会」についての見通しを持ち、意欲的に取り組もうとしている。 【主体的態度】 (学級会ノート) ◎1年生と行う交流内容について学級会ノートに書いている。 【思考・判断・表現】 (観察・学級会ノート)
	9月28日 (木) 【朝の会】	・議題を決定する。 (学級全員) ・活動計画を作成する。 (提案理由、話合いのめあて、話し合うこと、決まっていること等を確認する。) ・学級会コーナーに掲示する。 ・交流内容について、アンケートを行う。	・計画委員会で議題案を提案し、学級全員で決定する。 ・日時、会の目的、場所、交流時間等は計画委員会で設定しておく。 ・全員が会の目的やねらい、会がどのように進むかというイメージを持てるように提案させる。	
	10月2日 (月) 【昼休み】	・アンケートをまとめる。	・意見を整理、分類し、意見を3つにしぼる。	
	10月17日 (火) 【朝活動】	・学級会ノートに自分の考えを記入する。(学級全員)	・自分の考えを理由をつけて、学級会ノートに記入する。	
	10月19日 (木) 【昼休み】	・学級会ノートに目を通し、書かれた意見を整理する。	・話合いの見通しを持たせる。必要に応じて意見を短冊に記入させる。	
本時	10月27日 (金) 【5校時】	・学級会	※本時を参照	※本時を参照
事後	11月6日 (月) 【学級活動】	・会の準備をする。 (役割分担、プログラム作り) ・リハーサルを行う。	・学級会で決まったことをもとに、役割分担の行い、準備をする。	◎会の目的や自分の役割を意識して、交流会に参加している。 【主体的態度】 (観察・学級会ノート)
	11月7日 (火) 3校時	・1年生となかよくなるう会を行う。	・会終了後、振り返りを行う。	

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

1年生と仲良くなるための集会で何をするか考え、お互いの良さを認め合いながら、意見を交流し、集会の内容を決めることができる。

(2) 話合い活動の工夫

★手立て「ルーブリックの活用」

本時の話合いのめあて「まとめる力」については、まだ経験不足にある。そのため、ルーブリックの話し方を参考にさせたり、キーワードに立ち返って考えさせたりする。

★手立て「どのように工夫するか」

異学年との交流が少ないため、自分たちが気を付けなければならないことについてなかなか考えられないと思われる。そこで、事前にとったアンケートから参考になる例を取り上げたり、1年生と交流が多い6年生にインタビューしたビデオを参考にさせたりする。

(3) 指導計画

話合いの順序	指導上の留意点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉 ★手立て
<p>1 はじめの言葉</p> <p>2 議題・提案理由・決まっていること・めあての確認</p>	<p>・一人一人が自分の考えをもって話合いに参加できるよう、議題に対する考えや理由を事前にかかせておく。</p>	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>議題</p> <p>1年生となかよくなるう会をしよう</p> <p>提案理由</p> <p>生活科の学習で1年生と12月に「おもちゃ大会」を行います。そこで、前もってなかよくなるう会を行い、お互いに知り合っていた方が、1年生が安心して楽しく参加できるのではないかと考えました。1年生もすぐにできることを集会で行い、お互いに顔や名前を覚え、なかよくなりたいと思います。</p> <p>キーワード（話合いのよりどころ）</p> <p>「1年生が楽しくできること」「じぶんたちですすすめられること」</p> <p>決まっていること</p> <p>1 1月7日（火）3校時 場所は体育館。 自己紹介10分、その後20分で行うゲームを一つ決める。</p> <p>話合いのめあて</p> <p>1年生のことを考えて話し合い、よりよい意見に決めよう。</p> </div>		
<p>3 先生から</p>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>話合いの内容について</p> <p>1年生が楽しく活動できるということを意識させる。</p> <p>話合いのめあて</p> <p>1年生が楽しめることを優先に考え、自分の意見にこだわらず、みんなのためになる意見に決めることをめあてにさせる。</p> </div>		
<p>4 話合い</p> <p>(1) 話合うこと①</p> <p>「1年生となかよくなるう会」で何をするか考えよう</p>	<p>・賛成意見を出す段階では、なるべく多くの子が発言できるよう司会に助言する。</p> <p>・心配意見がでない場合は、見通すための観点を助言し考えさせる。</p>	<p>★手立て</p> <p>◎提案理由に立ち返り、自分の意見にこだわりすぎずによりよい意見にまとめようとしている。</p>

<p>(2) 話合うこと② 「工夫や約束」について考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめの段階では、自分の意見に固執せず、納得したうえで考えを変えるなど、折り合いをつけて合意形成を図ることの大切さについて助言する。 ・1年生の立場に立って考えさせる。 ・イメージ化しにくいときは、6年生にインタビューした動画を流し、参考にさせる。 	<p>【思考・判断・表現】 〈観察・学級会ノート〉</p> <p>★手立て ◎決まった実践をよりよくするための工夫や約束を考えている。</p> <p>【思考・判断・表現】 〈観察・発言〉</p>
<p>5 決まったことの確認 6 振り返り 7 先生から 8 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・記録係から、決まったことを簡潔に紹介させる。 ・よかった点や課題について自己評価し、友達のよかった点などについても相互評価できるよう助言する。 ・「先生から」で話した2点について評価する。 ・今後の見通しや、実践に向けての意欲付けをする。 	

(4) 板書計画

ぎだい
 一年生となかよくなろう会について

ていあんりゆう
 生活科の学習で一年生と「おもちゃ大会」を行います。そこで、前もってなかよくなろう会を行い、お互いに知り合っていた方が、一年生が安心して楽しく参加できるのではないかと考えました。一年生もすぐにできることを集会で行い、お互いに顔や名前を覚え、なかよくなりたいと思います。

キーワード
 「一年生がすぐにできること」「笑顔でなかよくなること」

決まっていること
 十一月七日(火)三校時
 場所は体育館。

話し合いのめあて
 自己紹介十分、その後二十分で行うゲームを一つ決める。
 一年生のことを考えて、皆が楽しく仲良くできる意見にまとめよう。

まとめる力			
△	○	◎	✪
すぐに多数決で決めたよとしている。	賛成意見が多いので、Aにしてはどうですか。	賛成意見の多いもの、心配意見が少ないものに決めるよう話している。	それぞれの思いを取り入れたり、少数意見に配慮したりした意見を出している。 「Aの中にBの思いが入っているから、Aに決めていいと思います。」 提案理由や決まっていることを確認して決めるように話している。 「Aは賛成も多いし、提案理由にふさわしいので、Aに決めていいと思います。」 「決まっていること」を考えるとAでいいと思います。

第七回 二年A組 学級会

話し合うこと①
 さんせい
 しんぱい
 はんたい

話し合うこと②
 くふうややくそく

話し合いで決まったこと

先生から

